

White Town Project

— ホワイトタウンプロジェクト —

キャンピングトレーラーを災害時の簡易仮設住宅に

NPO-CAMPER は、災害時の簡易仮設住宅としてキャンピングトレーラー導入を、自治体、自主防災会などに薦めています。

発災時には全国のキャンピングトレーラーを集め、一夜にして生活が可能なホワイトタウンをつくります。

災害発生時には、学校の体育館や公民館などに大勢で避難することがほとんどで、仮設住宅が完成するまでの数週間、ダンボールで仕切りを作っただけの、プライバシーのない生活を余儀なくされます。さらには、これまでの仮設住宅にもいくつかの問題点があります。



仮設住宅の場合

- 設置場所を選ぶ
- 設置に時間が掛かる
- 一度設置すると容易に動かせない
- 家具、家電など別に必要

キャンピングトレーラーの場合

- 駐車スペースがあればよい
- すぐに使える
- いつでも移動可能
- 家具、家電は標準装備



アメリカのハリケーン・カトリーナの被災地でも、キャンピングトレーラーは簡易仮設住宅として活躍しました。



被災者の方が自分で調理を行うことができるため、食材さえあれば炊き出しもありません。

写真提供  米国 FEMA

White Town Project

—ホワイトタウンプロジェクト—

平時におけるキャンピングトレーラーの活用法

- ◎防災コンテナとして防災用品を入れておく。災害時には牽引し、中身は義捐物資として活用する。
- ◎キャンプ場を持つ自治体の場合、バンガローとして貸し出す。収益金はメンテナンスの費用にする。

キャンピングトレーラーでの避難生活

キャンピングトレーラーには、生活をする上で必要なものは標準で揃っています。災害発生時には牽引し、地域単位に設置することで近隣の結びつきを継続した生活をすぐに始めることができます。牽引され高速道路を走行できる強度がありますので、余震の続く被災地でも倒壊の危険性はありません。



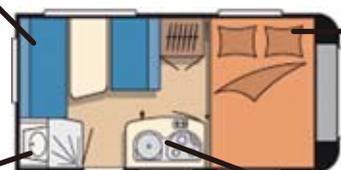
家族で集まって食事をしたり、話をしたりする憩いの場所。

避難所生活では、周囲を気にしてあまり会話も弾みません。しかしその日の出来事をみんなで話しながら、ゆったり、のんびりするのが必要です。

一般的なヨーロッパモデル (400SF Deluxe の 2009 年モデル)

2,856,000 円 (参考価格)

写真提供: トーザイアテオ(株)



ホテルのような寝心地のベッドで、心身共にリラックス。

仕事や復興作業による疲れを癒し、翌日からまたがんばれるように、睡眠はしっかり十分に取りたいです。



簡易水洗トイレを装備。

夏の暑さや冬の寒さに耐えながら、トイレの行列に並ぶ。それだけで体を壊してしまいそうです。トイレも装備しているので、体調のすぐれない日も安心です。

暖房完備

人によって違う快適な温度を、各家庭ごとに調節できます。



冷蔵庫もあるキッチンで、いつでも温かな食事を準備。

生活習慣は人それぞれでも、炊き出しの時間はみんな同じです。温め直して食べたり、食材があれば自分で調理したりと食事のストレスを軽減します。

セグウェイで巡回

キャンピングトレーラーが初めての方のために、使い方の説明や食材・支給品の配達、深夜の見回りなど、セグウェイを使って巡回します。セグウェイは電動で音も静かなため、被災者の方に余計なストレスを与える騒音がありません。また、大きなタイヤで荒れた道でも進むことができます。



※ホワイトタウンとは、白いキャンピングトレーラーが並んでいるところから名付けられました。

事務局

〒361-0001 埼玉県行田市大字北河原 705 番地 (株)エンポリック内
TEL 048-557-3266 / FAX 048-557-3421

NPO 特定非営利活動法人
キャンパー
Camper
<http://www.camper.ne.jp/>